



館名について

受け継ぎ、語り継ぐという意味の「承継」という言葉があります。

戦傷病者とそのご家族等の労苦を知り、

語り継ぐという趣旨からこの言葉を館名にしました。

そして、子供から大人まで多くの人々に親んでもらえるよう

「しょうけい」の平仮名表記にしました。なお、館の性格を

示すものとして「戦傷病者史料館」という名称を附記しています。

ご利用案内

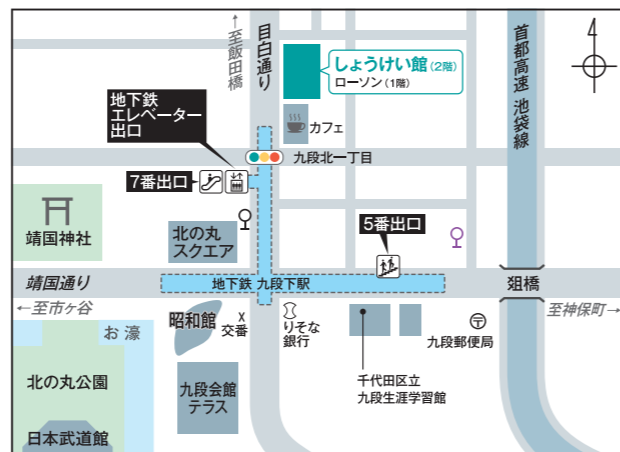
入館無料 開館時間 | 午前10時～午後5時30分(入館は午後5時まで)

受付2階 休館日 | 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合はその翌日)
年 末 年 始 (12月28日から1月4日)

無料でご利用になれるサービス 車椅子 ロッカー 展示ガイド

交通案内

- 地下鉄をご利用の場合
 - ・九段下駅「東京メトロ(東西線・半蔵門線)」「都営地下鉄(新宿線)」7番出口より徒歩3分、5番出口より徒歩5分
- バスをご利用の場合
 - ♀ 都営バス「九段下(飯64系統)」より徒歩4分
 - ♀ 千代田区コミュニティバス「千代田保健所(九段下駅)」より徒歩5分



お願い

- 展示資料にはお手を触れないでください。
- 館内の無断撮影、録画、録音は堅くお断りします。
- 館内での通話をご遠慮ください。
- 館内での飲食をご遠慮ください。
- 館内での喫煙をご遠慮ください。
- ペットの持ち込みをご遠慮ください。
- 危険物の持ち込みをご遠慮ください。



〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-5 グリーンオーク九段 2階
TEL.03-3234-7821 FAX.03-3234-7826 www.shokeikan.go.jp

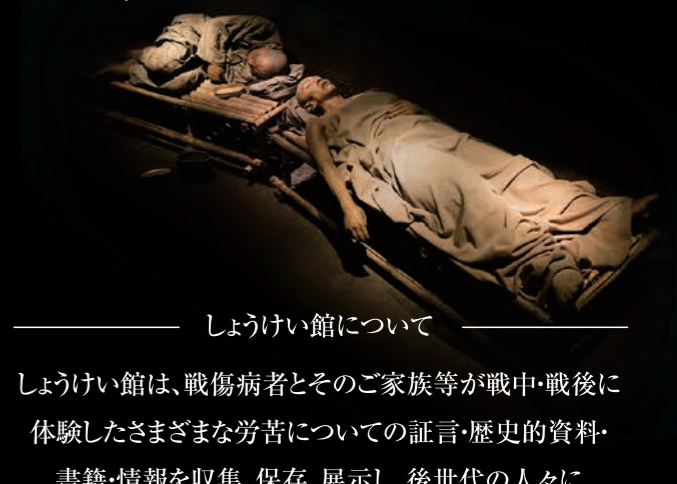
2026.02



受け継ぎ、語り継ぐ。記憶も、痛みも。



戦傷病者とその家族の
労苦を語り継ぐ



しょうけい館について

しょうけい館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々に

その労苦を知る機会を提供することを目的に、

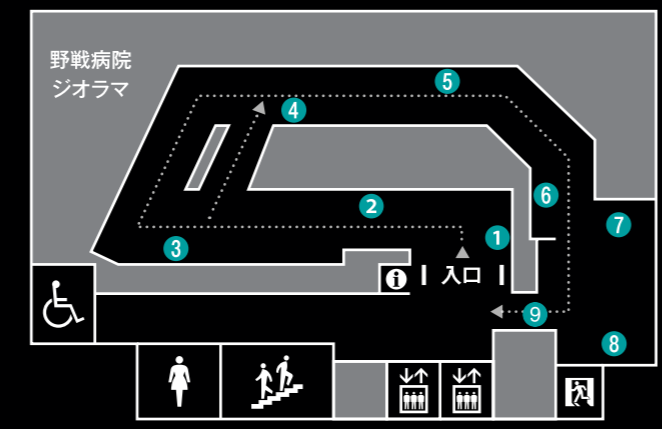
平成18年3月に設置された国立の施設です。



3F



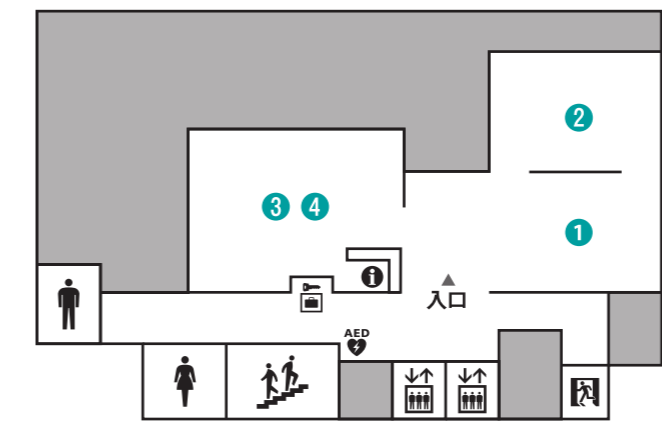
義指
戦傷失明杖
患者衣
箱根式車いす
摘出弾
恩賜の義眼



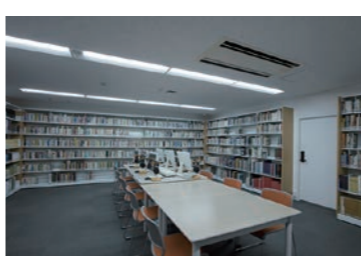
体験者の証言をもとに、戦場で負傷したある兵士の足跡を辿る形で戦傷病者とその家族の労苦をお伝えします。

- ① イントロダクション 一人の若き兵士の紹介
- ② 戦地へ向けて 徴兵／入営／出征／戦地での生活
- ③ 戦地での受難、治療 受傷／救護・収容／野戦病院
- ④ 搬送、戦時下の治療生活 搬送／病院船／戦時下の療養生活／退院後の社会復帰
- ⑤ 家族とともに 生活の困窮／傷病とともに生きる／ともにのりこえて
- ⑥ 触れてる展示
- ⑦ テーマ別展示 寄贈資料をテーマ別に紹介
- ⑧ 心の傷による労苦
- ⑨ 平和へのメッセージ

2F

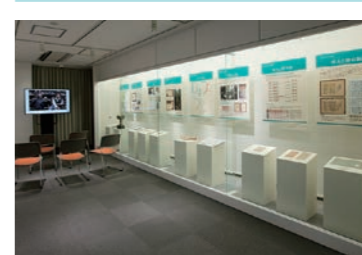


企画展示室、シアター、図書室において戦傷病者とその家族のさまざまな労苦をお伝えします。

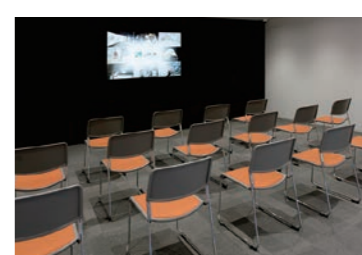


- ③ 図書室
戦傷病者の体験記や戦争体験者の回想記、医療、福祉、援護施策などに関する書籍を配架しています。開架図書は自由に閲覧できます。
※館外貸出は行っていません。

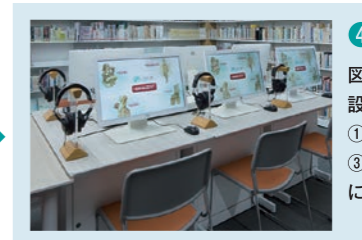
館内のご案内



- ① 企画展示室
年4回の展示替えを行いながら、戦傷病者が辿った労苦を紹介しています。



- ② シアター
戦傷病者が語るさまざまな体験を映像で伝えます。また、次世代の語り部の講話会などの催しも行います。



- ④ 情報検索端末
図書室の中には情報検索端末が設置されています。
①文献資料／②実物資料
③戦傷病者の記録／④証言映像について、検索できます。

